

## まえがき

|          |  |
|----------|--|
| 著者       | 平野 克己  |
| 権利       | Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア<br>経済研究所 / Institute of Developing<br>Economies, Japan External Trade Organization<br>(IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a> |
| シリーズタイトル | 研究双書   |
| シリーズ番号   | 495  |
| 雑誌名      | 新生国家南アフリカの衝撃   |
| ページ      | i - i  |
| 発行年      | 1999   |
| 出版者      | 日本貿易振興会アジア経済研究所  |
| URL      | <a href="http://hdl.handle.net/2344/00012557">http://hdl.handle.net/2344/00012557</a>  |

## まえがき

本書は、平成9年度のアジア経済研究所「南アフリカ民主化の衝撃」研究会、同じく10年度「新生国家南アフリカがもたらす衝撃」研究会（いずれも主査平野克己）が、2年間の議論を経て辿り着いた成果である。

本研究会は、アジア経済研究所が行ってきた通常のアフリカ研究事業とは若干内容を異とした。つまり、多くの国をカバーしたうえ各国に関して蓄積されている先行研究を消化しそれを発展させるという研究志向を暫しおいて、現在沸々と脈打っている歴史変換のダイナミズムそれ自体を分析対象に設定するという試みに挑戦してきた。目的は、アフリカ大陸において圧倒的な経済・技術・軍事大国である南アフリカが、永きにわたる民主化闘争の末、漸くにして国際社会に参入を果たしたそのことが、さまざまな方面、さまざまな国にもたらす衝撃を解明することにあった。それゆえ、本書に収録された各論文は、最新の情報の大胆な吸収、評価の定まっていない論文への思い切った解釈、統計や先行研究に対するこれまでとは違った読み込みを、必然的に強いられている。慣れ親しんだ研究テーマと研究手法から一步を踏み出すという苦しい作業への挑戦を、各執筆者にはお願いした。その成否は読者の判断に委ねられるが、編者の意図は快く果たされている。われわれのささやかな野心は、その先にアフリカ世界全体の変貌を眺望している。

そういった研究姿勢を温かく見守り、本書の完成を支えてくれた研究所同僚諸氏、および研究会専門委員として貴重な助言を戴いた敬愛大学の林晃史教授に対し、ここに改めて謝辞を捧げる。

平成11年2月

編者